

産婦人科

1. 概要

周産期分野では総合周産期センター開設後、約2年が経過した。生殖年齢人口の減少に伴い、当地域の出生数は減少しているが、当院の分娩数、母体搬送数は減少していない。むしろ超早産、極低出生体重児の出生数は増加傾向にある。院内各科と連携し、母児の安全を第一に診療を行っている。

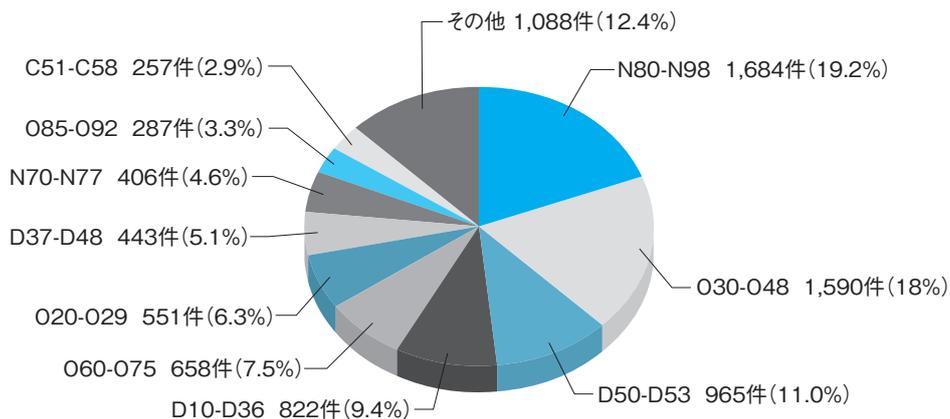
婦人科悪性腫瘍については、患者の状態や進行期を考慮した治療を心がけ、全国的にも高い成績を示している。子宮体癌では、保険適応となった腹腔鏡下手術の症例が増加した。現在子宮頸癌に対する腹腔鏡下手術の先進医療認定に向け準備中である。

子宮筋腫をはじめとした良性疾患は、ほぼ腹腔鏡下手術に移行した。妊娠を希望される症例では総合生殖医療センターと連携し、よりよい治療方法、時期を選択するとともに術後早期の妊娠を目指し、妊娠後は周産期部門で一貫した治療が可能となっている。また、子宮脱に対しては低侵襲かつ再発も少ない腹腔鏡下手術を導入し症例数が飛躍的に増加した。

(第二部長 岡田 真由美)

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：8,751件



ICD-10 中間分類項目
N80-N98：女性生殖器の非炎症性障害
O30-O48：胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題
D50-D53：栄養性貧血
D10-D36：良性新生物
O60-O75：分娩の合併症
O20-O29：主として妊娠に関連するその他の母体障害
D37-D48：性状不詳又は不明の新生物
N70-N77：女性骨盤臓器の炎症性疾患
O85-O92：主として産じょく<褥>に関連する合併症
C51-C58：女性生殖器の悪性新生物

3. 活動報告

(1) 実績

分娩統計(2015.1-12)	(件)
正常	478
バースセンター正常	4
選択の帝王切開	212
緊急帝王切開	158
緊急帝王切開死産	0
超緊急帝王切開	20
鉗子分娩	6
吸引分娩	55
未受診正常	2
未受診緊急帝王切開	1
死産	3
双胎選択帝王切開	37
双胎緊急帝王切開	11
双胎緊急帝王切開一児死産	1
計	988
中期中絶	14
中期流産	9
中期中絶帝王切開	4
中期流産帝王切開	1
双胎中期中絶	1
計	29
母体搬送	242

産婦人科悪性腫瘍治療症例数(2015.1-12)	(件)
◎子宮頸部CIN II	計16
円錐切除	10
腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)	5
複式単純子宮全摘術(TAH)	1
◎子宮頸部CIN III	計70
円錐切除	47
レーザー蒸散	1
TLH	20
TAH	2
◎子宮頸癌	計37
①子宮頸癌(扁平上皮癌)初回手術例	21
I A期	6
I B1期	12
I B2期	2
II A期	1
②子宮頸癌(腺癌他)初回手術例	4
0期	2
I B1期	1
II B期	1
③子宮頸癌化学放射線療法後手術 III B期	1
④子宮頸癌化学放射線療法 (放射線科と共同治療)	8
II A1期	1
II B期	2
III A期	1
III B期	1
IV B期	3
⑤子宮頸癌放射線療法(主に放射線科)	3
II B期	1
III A期	1
IV B期	1

◎子宮体癌（癌肉腫含む）	計	53
I A期		32
I B期		12
II期		2
III A期		2
III C期		1
IV B期		4
◎子宮肉腫	計	3
子宮平滑筋肉腫		
I B期		1
IV B期		1
未分化肉腫 III C期		1
◎子宮腺肉腫 I C期	計	1
◎STUMP	計	1
◎子宮内膜異型増殖症	計	5
◎卵巣癌	計	35
I A期		4
I C期		15
II A期		1
II B期		2
III B期		5
III C期		6
IV B期		2
◎卵巣境界悪性腫瘍	計	12
I A期		7
I C期		5
◎Krukenberg腫瘍	計	2
◎卵管癌 I A期	計	2

◎化学療法

卵巣癌	60人	のべ358コース
子宮頸癌	39人	のべ129コース
子宮体癌	38人	のべ167コース
腹膜癌	6人	のべ29コース
子宮肉腫	4人	のべ19コース
卵管癌	2人	のべ16コース
その他	3人	のべ18コース
計	152人	に対してのべ736コース施行

産婦人科当直帯救急患者数（夜間休日）（2015.1-12）（件）

経陰分娩	402
緊急帝王切開	100
その他手術	49

救急外来患者数再診

8：30-17：00（休日のみ）	132
17：00- 0：00	254
0：00- 8：30	126
計	512

救急外来患者数初診

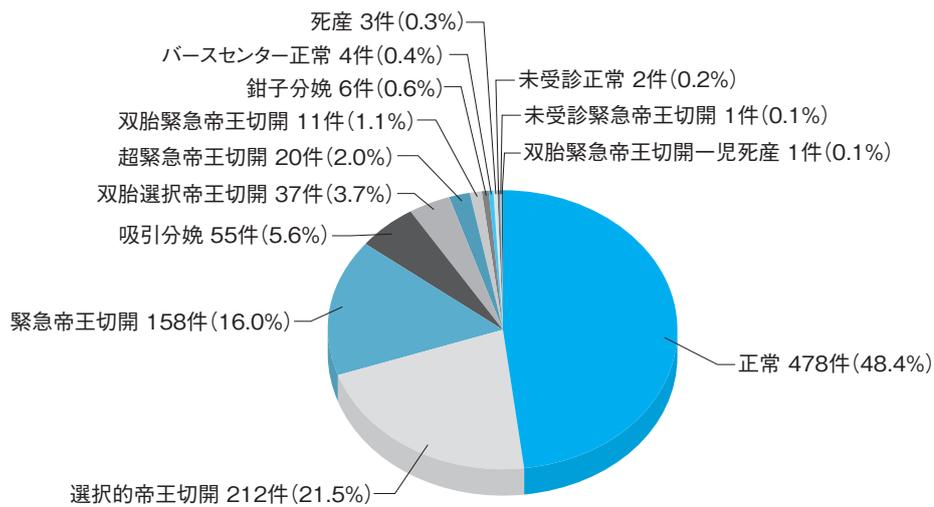
（カッコ内は本来他の施設で診察すべき患者数）

8：30-17：00（休日のみ）	70	（8）
17：00- 0：00	202	（23）
0：00- 8：30	90	（15）
計	362	（46）

救急外来患者総数 874

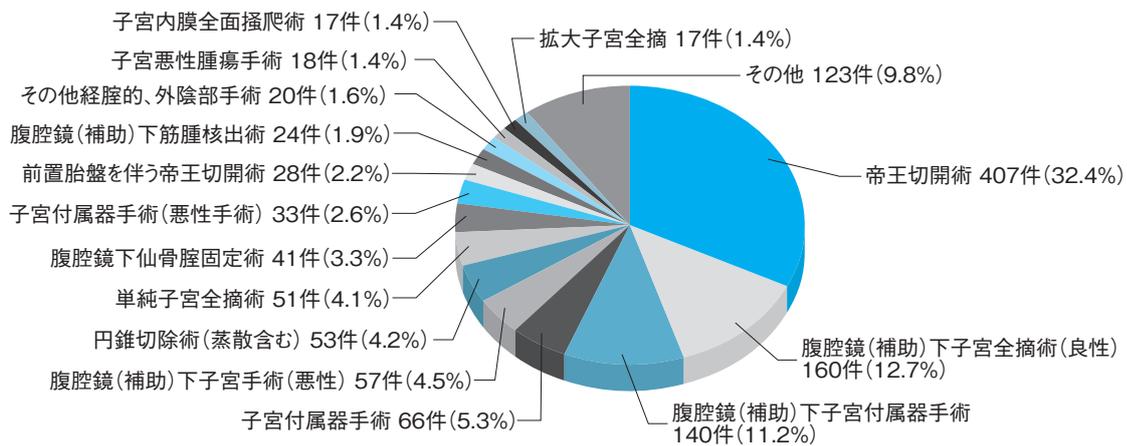
●分娩統計

総件数：988件



●手術件数

総件数：1,255件



学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	子宮全摘術に対するロボット支援 下腹腔鏡下手術	筆頭演者	梅村 康太	第7回日本ロボット外科学会	2015/2/7
2	当院における超緊急帝王切開の統計	筆頭演者	國島 温志	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/21
3	当院における腹腔鏡下仙骨腔固定 術の導入	筆頭演者	甲木 聡	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/21
4	子宮頸癌における広汎子宮全摘術 の臨床的検討	筆頭演者	河井 通泰	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/21
5	典型的な慢性早剥羊水過少症候群 の1例	筆頭演者	松尾 聖子	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/22
6	当院における特発性血小板減少性 紫斑病合併妊娠の4症例	筆頭演者	廣渡 芙紀	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/22
7	子宮体癌に対する安全な腹腔鏡下 手術を目指して～エンシールG2を 使いこなす～	筆頭演者	梅村 康太	第135回東海産科婦人科学会	2015/2/22
8	当科における骨盤臓器脱に対する 腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)につ いて	筆頭演者	梅村 康太	第9回日本骨盤臓器脱手術学 会	2015/3/7
9	骨盤臓器脱に対する治療法～当院 におけるLSC手術の現状と工夫 ～ランチョンセミナー	筆頭演者	梅村 康太	第9回日本骨盤臓器脱手術学 会	2015/3/7
10	子宮頸癌治療に対する腹腔鏡下手 術とセンチネルナビゲーション	筆頭演者	梅村 康太	第67回日本産科婦人科学会学 術講演会	2015/4/10
11	新規指標を用いたGnRH（LH-RH） テストの調節卵巣刺激への応 用	筆頭演者	甲木 聡	第67回日本産科婦人科学会学 術講演会	2015/4/11
12	2014年に経験した原因の異なる子 宮破裂の4例	筆頭演者	松尾 聖子	第67回日本産科婦人科学会学 術講演会	2015/4/12
13	標準治療としての子宮体癌腹腔鏡 下手術：当院の成績と術式の検討	筆頭演者	吉田 光紗	第67回日本産科婦人科学会学 術講演会	2015/4/12
14	導入期が重要!! ガイドラインと院 内コンセンサス～腹腔鏡下子宮悪 性腫瘍手術(子宮体がん)～ランチ ョンセミナー	筆頭演者	梅村 康太	第67回日本産科婦人科学会学 術講演会	2015/4/12
15	常染色体劣性多嚢胞腎の出生前診 断：同胞内再発の1例	筆頭演者	松尾 聖子	日本超音波医学会第88回学術 集会	2015/5/22
16	当院における臍帯動脈pHが7.1未 満であった症例の検討	筆頭演者	植草 良輔	第101回愛知産科婦人科学会 学術講演会	2015/7/4
17	当科における帝王切開術後の静脈 血栓塞栓症予防プロトコール	筆頭演者	北見 和久	第51回日本周産期・新生児医 学会総会および学術集会	2015/7/11
18	34週で子宮破裂に至った子宮筋腫 核出術後妊婦の1例	筆頭演者	甲木 聡	第51回日本周産期・新生児医 学会総会および学術集会	2015/7/11
19	頸管裂傷後、子宮型羊水塞栓症を 生じたと考えられた2例	筆頭演者	松川 哲	第51回日本周産期・新生児医 学会総会および学術集会	2015/7/11
20	子宮体部悪性腫瘍における大網転 移症例の臨床病理学的検討	筆頭演者	河合 要介	第57回日本産婦人科腫瘍学会 学術講演会	2015/8/7
21	放射線単独療法にて初回治療を行 った子宮体癌8例の検討	筆頭演者	北見 和久	第57回日本産婦人科腫瘍学会 学術講演会	2015/8/8
22	当科で経験したBenign Multicystic Mesotheliomaの3例	筆頭演者	藤田 啓	第57回日本産婦人科腫瘍学会 学術講演会	2015/8/9
23	子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子 宮全摘術の導入について ミニワ ークショップ	筆頭演者	梅村 康太	第57回日本産婦人科腫瘍学会 学術講演会	2015/8/9

学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
24	子宮頸癌に対する蛍光ICGによる腹腔鏡下センチネルリンパ節同定法	筆頭演者	梅村 康太	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/10
25	当院における子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の経験	筆頭演者	國島 温志	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/10
26	安全な操作で解剖の理解にも役立つTLH手術	筆頭演者	松尾 聖子	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/10
27	月経時に腸閉塞を繰り返し腹腔鏡下で卵巣子宮内膜症性嚢胞とともに一次的に切除しえた回腸子宮内膜症の一例	筆頭演者	池田 芳紀	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/11
28	腹腔鏡下骨盤内リンパ節郭清のコツ	筆頭演者	北見 和久	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/11
29	当院で経験した子宮型羊水塞栓症6例の症例検討	筆頭演者	矢吹 淳司	第36回日本妊娠高血圧学会学術集会	2015/9/12
30	当院におけるクリオプレシピテートの使用状況	筆頭演者	岡田真由美	第36回日本妊娠高血圧学会学術集会	2015/9/12
31	当院における子宮体癌手術ー若手医師への教育についてー	筆頭演者	高野みずき	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/12
32	エアシールの有用性についての検討	筆頭演者	北見 和久	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/12
33	TLHにおける視野展開と手術操作のポイント	筆頭演者	梅村 康太	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2015/9/12
34	全腹腔鏡下子宮全摘術を施行したEpithelioid trophoblastic tumor (ETT) の1例	筆頭演者	河合 要介	第102回愛知産科婦人科学会学術講演会	2015/10/3
35	新規癌関連抗原KIF20Aの卵巣癌における発現とペプチドカクテルワクチン療法への応用	筆頭演者	河合 要介	第53回日本癌治療学会学術集会	2015/10/29
36	経時的に変化する超音波画像所見により胎児診断し得た総排泄腔遺残症の一例	筆頭演者	池田 芳紀	第38回日本母体胎児医学会学術集会	2015/10/29
37	慢性早剥による重症肺障害が疑われる2例	筆頭演者	松尾 聖子	第38回日本母体胎児医学会学術集会	2015/10/30
38	当院における産褥搬送症例の現状	筆頭演者	岡田真由美	第38回日本母体胎児医学会学術集会	2015/10/30
39	4回の再発に対し同時化学放射線治療により寛解を得た子宮頸癌の1例	筆頭演者	植草 良輔	第53回日本癌治療学会学術集会	2015/10/30
40	子宮温存が可能であった子宮破裂の5例	筆頭演者	松尾 聖子	第38回日本産婦人科手術学会	2015/11/28
41	当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術に関する短中期成績の報告	筆頭演者	甲木 聡	第38回日本産婦人科手術学会	2015/11/28
42	子宮頸癌に対する腹腔鏡下手術の導入とICGによる蛍光色素を利用したSLN同定法について	筆頭演者	梅村 康太	第38回日本産婦人科手術学会	2015/11/29
43	腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)におけるパワーデバイスの活用	筆頭演者	藤田 啓	第38回日本産婦人科手術学会	2015/11/29
44	全腹腔鏡下子宮摘出術における手術時間短縮の工夫(手術時間はどこまで短縮可能か?)	筆頭演者	河合 要介	第38回日本産婦人科手術学会	2015/11/29
45	当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)の治療成績	筆頭演者	植草 良輔	第28回日本内視鏡外科学会総会	2015/12/10

学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
46	腹腔鏡下单純子宮全摘術における、Vessel Sealing Systemを用いた子宮傍組織処理の安全性と有用性の検討	筆頭演者	甲木 聡	第28回日本内視鏡外科学会総会	2015/12/10
47	当院における骨盤リンパ節郭清の工夫	筆頭演者	高野みずき	第28回日本内視鏡外科学会総会	2015/12/11
48	子宮頸癌治療における腹腔鏡下蛍光センチネルリンパ節ナビゲーションについて	筆頭演者	梅村 康太	第28回日本内視鏡外科学会総会	2015/12/11
49	当院における全腹腔鏡下子宮全摘術での尿管に対する各アプローチの検討	筆頭演者	矢吹 淳司	第28回日本内視鏡外科学会総会	2015/12/12

研究会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	始めよう腹腔鏡下手術～第一歩からTLHまで	筆頭演者	梅村 康太	第3回東京低侵襲婦人科手術研究会	2015/2/21
2	尿管の同定方法 3方向からのアプローチ術	筆頭演者	高野みずき	第16回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2015/10/10
3	婦人科悪性腫瘍手術に対する腹腔鏡下手術	筆頭演者	梅村 康太	第16回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2015/10/10
4	当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術の臨床成績の検討	筆頭演者	甲木 聡	第16回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2015/10/10
5	全腹腔鏡下子宮摘出術における手術時間短縮のために必要なポイント～手術時間はどこまで短縮可能できるか？～ワークショップ	筆頭演者	河合 要介	第16回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2015/10/10
6	インドシアニングリーンを用いた子宮悪性腫瘍に対する腹腔鏡下センチネルナビゲーション	筆頭演者	梅村 康太	第17回SNNS研究会学術集会	2015/11/14

講 演 (医局)

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	初発または再発卵巣癌におけるアバスチン投与対象について	池田 芳紀	三遠地区Ovarian Cancer Conference	2015/1/23
2	子宮体がん・子宮がんにおける腹腔鏡下手術	梅村 康太	静岡産婦人科腹腔鏡セミナー	2015/4/25
3	子宮悪性腫瘍手術における蛍光センチネルナビゲーションの未来～子宮体がん手術手技と共に～	梅村 康太	2015産婦人科手術手技勉強会～腹腔鏡の達人に学ぶ～	2015/8/29
4	Video Conference	梅村 康太	2015産婦人科手術手技勉強会～腹腔鏡の達人に学ぶ～	2015/8/29
5	骨盤内視鏡外科	梅村 康太	第2回東海骨盤内視鏡外科を学ぶ会	2015/10/17
6	周産期センターの現況及び病診連携 周産期センターの稼働状況	岡田真由美	平成27年度公的病院長ならびに産婦人科部長と本会役員との懇談会	2015/11/28

【国際学会】

(8) 産婦人科 医員 池田 芳紀

TITLE.

COMBINATION METHOD OF LAPAROSCOPIC SACROCOLPOPEXY WITH AN ANTERIOR MESH AND POSTERIOR COLPOPERINEOPLASTY FOR PELVIC ORGAN PROLAPSE

AUTHOR/S.

Ikeda Y (JP) [1], Umemura K (JP) [2], Ando H (JP) [3], Kawai M (JP) [4]

ABSTRACT.

Backgrounds: Laparoscopic sacrocolpopexy (LSC) with anterior and posterior meshes (AM and PM) has been considered as a favorable surgical treatment for pelvic organ prolapse (POP). However a high rate of postoperative bowel dysfunction has been reported. AM and PM placement procedure generally requires longer operation time. Therefore our procedure was modified to a combination of LSC using AM and conventional posterior colpoperineoplasty instead of PM placement.

Materials and methods: This study involves 35 women who had LSC with AM and/or PM at our hospital from June 2014 to August 2015. These patients have regular outpatient visits for postoperative follow-up. Their medical records were reviewed retrospectively.

Results: 34 cases had concomitant subtotal hysterectomy followed by LSC. Total 35 LSC cases contained 3 cases with AM and PM, 26 cases with AM, 1 case with PM, and 5 cases with our combination method of AM and posterior colpoperineoplasty. No intraoperative complication was experienced. Subjective symptoms of POP were improved in all cases. No mesh erosion and no postoperative recurrence have been observed. At the beginning 3 cases which had rectocele were treated with LSC using AM and PM. These cases needed longer operation time and PM placement could not cover approximately 3 cm from the vaginal orifice. As a solution our procedure for POP with rectocele was modified to a combination of LSC using AM and posterior colpoperineoplasty without PM placement. 5 cases treated with this method have not shown any postoperative complications. Posterior colpoperineoplasty which can preserve vaginal canal length does not possibly affect postoperative sexual function.

Conclusions: Our combination method of LSC with AM and posterior colpoperineoplasty could be considered as an effective surgical treatment option for POP especially with rectocele.

INSTITUTE.

[1] Toyohashi Municipal Hospital, [2] Toyohashi Municipal Hospital, [3] Toyohashi Municipal Hospital, [4] Toyohashi Municipal Hospital

座長・司会（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	再発卵巣癌に対するアバスチンの治療効果と安全性	河井 通泰	三遠地区 Ovarian Cancer Conference	2015/1/23
2	遺伝する婦人科がん～婦人科における遺伝性腫瘍リスク評価およびその実践のポイントを考える～	河井 通泰	第三回東三河産婦人科フォーラム	2015/6/27
3	一般演題(ポスター):Group24-4	岡田真由美	第51回日本周産期・新生児医学会学術集会	2015/7/12
4	卵巣癌治療における分子標的薬の役割	河井 通泰	第2回Chugai Ovarian Cancer Seminar in MIKAWA	2015/7/17

論文・著書 (医局)

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	Prognostic value of histological type in stage IV ovarian carcinoma: a retrospective analysis of 223 patients	共同著者	Kawai Michiyasu	Br. J. Cancer. 2015; 112: 1376-1383.
2	子宮頸癌IIIB期に対する同時化学放射線療法の治療成績	筆頭著者	池田 芳紀	産と婦. 2015; 97: 563-568.
3	当院における自然妊娠および不妊治療による双胎妊娠の比較検討	筆頭著者	吉田 光紗	産婦の実際. 2015; 64: 717-721.
4	当院における転移性卵巣がん27例の臨床的検討	筆頭著者	伴野 千尋	産と婦. 2015; 85: 923-929.
5	「きらきら光るギネ女、ギネメン」ギネナビ〜ワーク・ライフ・バランスを応援します〜	共同著者	梅村 康太	日産婦会誌. 2015; 67: 2192-2198.
6	自己判断での水分摂取自己制限後に卵巣過剰刺激症候群が増悪して入院となった1例ー文献的考察を加えてー	筆頭著者	矢吹 淳司	日不妊カウンセリング会誌. 2015; 14: 185-189.
7	子宮頸癌手術におけるインドシアニンググリーンを用いた蛍光色素による腹腔鏡下センチネルリンパ節同定法	筆頭著者	梅村 康太	日産婦内視鏡会誌. 2015; 31: 155-160.
8	細径鉗子を使用した腹腔鏡下子宮全摘術	筆頭著者	吉田 光紗	東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌. 2015; 3: 51-55.
9	当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術の導入と短期成績の検討	筆頭著者	甲木 聡	東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌. 2015; 3: 79-83.
10	Mayo criteriaを用いて低リスク子宮体癌を鑑別することの有用性の検討	筆頭著者	矢吹 淳司	日本婦人科腫瘍学会雑誌. 2015; 33: 36-41.
11	子宮頸癌における広汎子宮全摘術の臨床的検討	筆頭著者	河井 通泰	東海産婦会誌. 2015; 52: 165-169.